

 能登和倉
万葉の里マラソン2013

応援に感謝!

ボランティアの温かい気持ちと応援の言葉に包まれて成功したマラソン大会。
一人一人の応援がランナーの励みとなり、思い出に残る大会となった。



今年の「能登和倉万葉の里マラソン」は、午前中、あられや冷たい雨に見舞われたものの、だんだん天気が回復して青空が広がった。この大会のボランティアスタッフは約1,400人。一人一人がおもてなしの心で、ランナーの思い出作りに一役買っていた。沿道でも、肌寒い中、傘を差して声援を送る子どもや高齢者の姿も見られた。ランナーは子どもたちとハイタッチをすると、辛そうな表情から笑みがこぼれ、七尾の人情味あふれる優しさを感じたのでは。

今回も大勢のボランティアや応援する人たちによって支えられ、大成功を収めることができた。今後も魅力的な大会にするためには、写真のような、皆さんの温かい笑顔が必要不可欠。ランナーは、皆さんの心からのおもてなしが「感動」という思い出となり、来年もこの大会に参加してくれるはず。

ボランティアや応援していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。



思い出づくりで初マラソン

今春、専門学校を卒業する仲間で、記念に残ることをしたいと思いついたのが、初めて出場するマラソン大会。チームを引っ張る3人から、マラソンから得たものを尋ねた。

今井省吾さん（キャプテン）

初めてのマラソン出場でした。走っている最中には、心が折れて完走できないだろうと思っていたけど、仲間や大勢の人に応援してもらい、走りきることができました。皆さんのおかげで頑張れました。

浅井晟也さん（幹事）

初めてみんなで挑戦しました。全員完走することが出来て良い思い出になりました。特に七尾の料理はおいしく、また旅行に行きたいです。

喜多一平さん（企画）

沿道でたくさんの人に応援してもらい、またボランティアスタッフが飲み物や食べ物を配ってくれることに胸が熱くなりました。自分は人に助けられて生きているのだと強く思いました。



チーム名 鈴鹿高専Advanced Engineers!
所 属 国立高等専門学校機構
鈴鹿工業高等専門学校（三重県鈴鹿市）
参加人数 ランナー 17人、応援12人